

独自技術シリコンシートを応用した培養基材の可能性

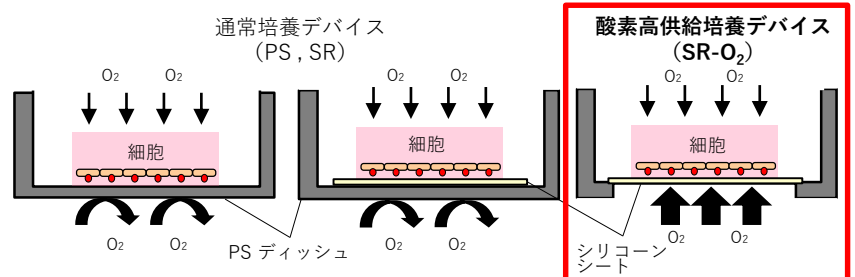
【安定品質の厚みバリエーションで酸素透過率の正確なコントロールが可能】

【無溶剤製法の為、溶剤影響を排除。外部要因による培養影響を極小化】

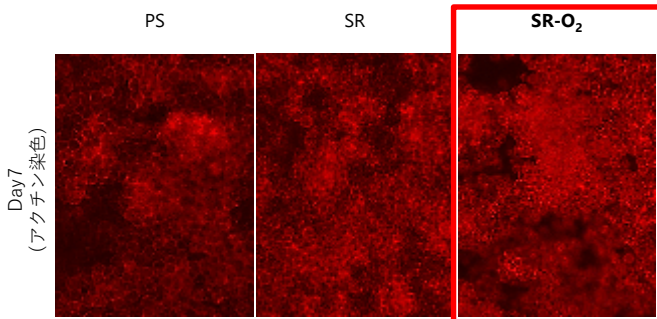
研究結果 ～細胞培養には酸素が重要～

細胞・培養条件

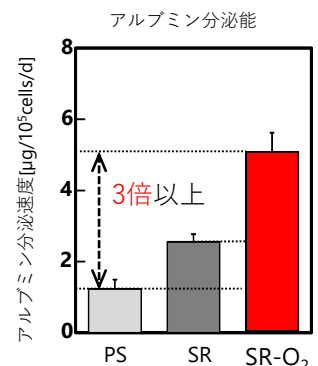
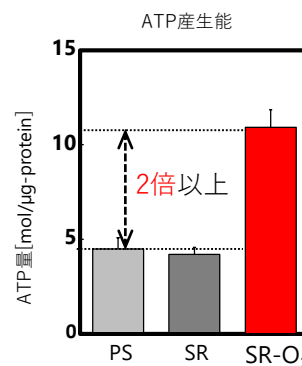
- ・細胞 : Huh7 (ヒト株化肝細胞)
- ・播種細胞数 : 5.0×10^4 cells/device
- ・培地 : DMEM+10% FBS
- ・培地量 : 1.0 mL/device
- ・培養期間 : 7日間 (毎日培地交換)



評価結果



各種データご提供：北九州市立大学 国際環境工学部 教授 中澤浩二 様(中澤研究室ご一同様)



総括

- ・酸素透過性の高い培養基材での培養により細胞機能の発現効果が判明
- ・狙った酸素量へのコントロールが重要

デバイス応用



当社超薄膜シリコンシートを用いて、高酸素透過性 (High Oxygen Permeability) 共培養を可能とする共培養容器 仮称「NICO-1Hop」が開発されました。※
2021年10月より、サンプル製品提供による市場調査を開始しております。

※開発・販売 株式会社ゲンレイラボ様

詳細はこちらから



当社HPはこちらから

